



平成27年3月

杉並区立富士見丘中学校

第6号

学校運営協議会だより

受 容

学校運営協議会会長

ちよう しゅんすけ
長 俊 介

(日本スクールソーシャルワーク協会会長)
(修復的対話フォーラム副理事長)



人は、相手に十分に受け入れられているとき、心の奥の問題を明かすものである。

子どもと相対するときに、一番気をつけていることです。今ある困難な状況を、子どもの身だけでは受け入れきれずに、他人を傷つけたり自分を傷つけたり、暴れたりいじめたり引きこもったり。私に相談に来るときには、加害者であれ被害者であれ、心が傷つき気持ちも折れている状態です。それでも時間をかけて気持ちを受けとめ、彼・彼女たちが受け入れられたと思うことで心は開かれます。心の扉のノブは内側にしかありません。

美しいことば

校 長

わたなべ せんじ
渡 邊 仙 二



私たちは、日常、人と心を通わせるために、ことばを使っています。ことばには、伝達や表現などの働きがあり、使い方は、年齢と共に次第に変化してきます。

「ありがとう」は、多くの人が美しいことばといいます。感謝するときに使うこのことばは、感動した心を自分のことばで感情を込めて発するので、美しいと感じるのだと思います。

めざす学校像「感謝される学校」の本校でも生徒一人一人が相手に幸せな気持ちになってほしいという思いと、温かい気持ちで話をしていけるよう指導していきます。

今年度、富士見丘中は創立60周年でした 同窓生に思い出を寄せていただきました

中学校時代の思い出

やぐえ みづき 安江 水城 学校運営協議会委員
第3期生

本校3期生の安江です。昭和31年高井戸小学校卒業し本校に入学。運動好きで野球部に入りたかったが、用具代が大変とシャツ、パンツと靴で済むバスケット部にと母から言われ入部しました。当時は現在の体育館辺りに土のコートでの練習でした。激しい動きで靴は直ぐ穴が開き、後に母は野球をさせとけばと嘆いていました。

受験を控えて補習授業と偽って練習に参加し、先生に見つかりマイクで「安江早く帰って勉強しろ」と放送され、バレルは、近所には知れ渡るは散々でした。今は諸君たちと通学時、学校で挨拶しあえるのが嬉しい。

頑張れ富士見丘中生。

私の中学校時代

いづかし あつこ 巖樫 敦子 学校運営協議会委員
第23期生

私が富士見丘中学校に入学した昭和50年代前半は各学年5～6クラスあり、後に社会問題になる校内暴力などがまだなく、穏やかな時代でした。

体育館は、正門入ってすぐの北側にあり校舎と渡り廊下でつながっていました。プールは今の体育館のところにあり、NHK側は桜並木になっていて春はきれいでした。

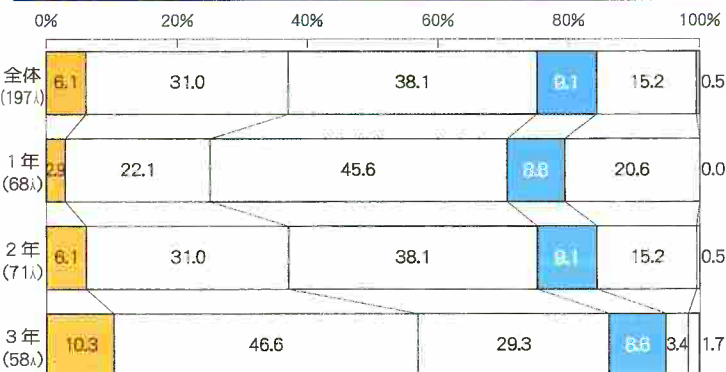
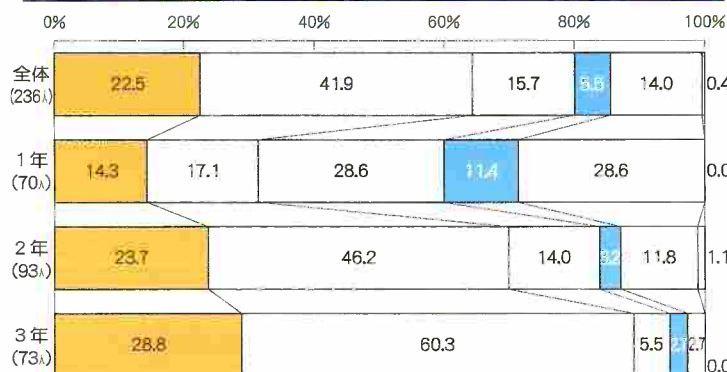
変形の校庭は強豪だったサッカー部と、部員80人以上のテニス部がひしめき合って部活をしていました。



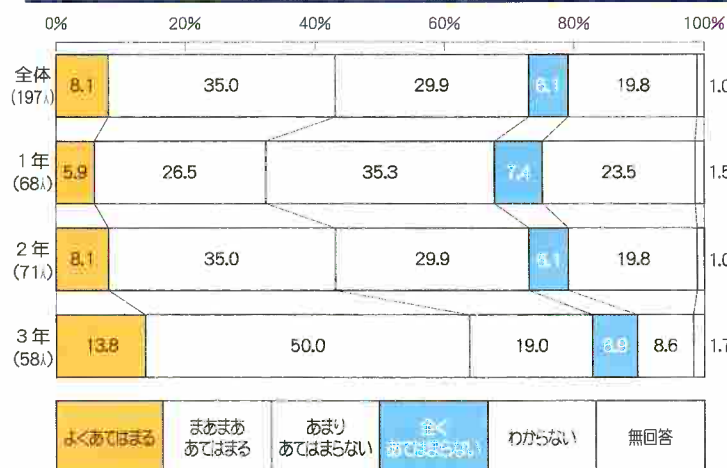
平成26年度学校運営協議会アンケートの結果から

「進路」について考えよう！

1) 学校で進路について十分に考える時間がある(生徒回答) 2) 子どもの進路について先生と十分に話し合う時間が十分にある(保護者回答)



3) 卒業生の進路情報が十分に提供されている(保護者回答)



本校の生徒、保護者を対象として「進路」に焦点を当てて聞いたアンケート調査(2014年12月実施)の結果から、生徒たちが自分の進路に関心を強く持ち出すのは、2年生になってからのようです(グラフ1・自分の進路について十分に考える時間がある)。

ただ、2年生の保護者にとっては、子どもの進路について先生と話し合う時間が十分ではない(グラフ2・進路について先生と話し合う時間が十分にある)と考えられており、進路情報の提供(グラフ3・十分に提供されているか)とともに、改善すべき課題の一つと言えます。

校長先生にも、3年生の状況を1年生や2年生にも情報提供していくことを提案いたしました。

〔渡邊校長先生から〕

アンケートの御協力ありがとうございました。

学校として、結果を真摯に受け止め、改善を図ってきたいと思います。

生徒の皆さんには、学活や学年集会など、保護者の皆様には、三者面談や保護者会などで情報提供や話し合う機会をつくっていきます。また、個々の対応もさせていただきますので、心配なことやわからないことがありましたら、学校へ連絡をお願いいたします。

「知ること」は大切なことです

「知らない」ことは怖いものではありません。

いずれは自分も経験すること。積極的に、情報を得たり知ろうとする姿勢が必要です。

1年生は2年生が今何をしているのか、2年生は3年生がどのように受験に向かい合っているのか、部活動や学校からの情報提供によって積極的に情報を得ましょう。

JOINT(学校支援本部)の活動に土曜授業支援が加わりました

今年度は小中連携地域清掃のお手伝い、パワーアップスクール講師の配置を行いました。平日の授業支援と共に、地域の力を学校へ届ける役目を担っています。



第3学年理科
じゃがいもの植えつけから収穫まで



地域の方の
力をかりて



第2学年総合
野菜の栽培